

公立大学法人 京都市立芸術大学（学長：鷲田清一）は、2016年8月30日（火）～9月19日（月・祝）まで、京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA にて、京都市立芸術大学芸術学研究室による総合選抜展：Colors of KCUA 2016 「ニューバランスはあらわれた」を開催いたします。

本展は、京都市立芸術大学芸術学研究室の学生が中心となって2011年から企画・運営している京都市立芸術大学卒業生・在学生選抜の展覧会「Colors of KCUA」シリーズの第5回です。研究活動と並行して制作の現場にも関わる芸術学研究室ならではの視点から作家を選定し、本学の制作活動や動向を広く学外に発信することを目的としています。

タイトルに掲げられた「ニューバランス」とは、出展作家5人の制作に共通して見られる特徴を表す言葉です。ある者は既存の美術のカテゴリーや、日常生活において避けられない他人との衝突に対して折り合いをつける。またある者は押し付けがましくなく鑑賞者にそっと共感をうながす、他者の視線を自然に取り入れたような表現を試みる。それは平成生まれの特質としてしばしば語られる「突き抜けない」「まわりくどい」といった傾向と受け取られるかもしれませんが、この展覧会ではその繊細なバランスを美術に変化をもたらす「ニュー」なものとして発信することを試みています。

参加アーティスト

岡本秀、楠井沙耶
西村有未、西森加奈、武藤桃

企画・運営

京都市立芸術大学美術学部
総合芸術学科
4年 砥綿菜、川久保美桜
3年 佐々木愛、豊増日菜
2年 小林奏子、中野ふくね、渡邊瞳

大学院美術研究科修士課程芸術学専攻
2年 河原功也
1年 岡田真輝

デザイン：原野萌

関連イベント

8月30日（火）15:00-18:00
トークイベント
オープニングレセプション

9月11日（日）14:00-16:00
芸術学研究室によるイベント

9月11日（日）16:00-17:00
9月17日（土）13:00-14:00
楠井沙耶「たたむひろがるこのここ」
各回4名 事前申し込み・飛び入り参加有り

武藤桃「監視員による会話のパフォーマンス」会期中不定期

※詳細はギャラリー HP



フライヤーイメージ

■アーティスト紹介

岡本 秀 OKAMOTO Shu

岡本秀は「恋人とのちょっとした衝突や、芸大生の抱える葛藤」をマンガにしたインスタレーションの作品発表を続けてきました。彼は日常生活の中では言語化されにくいような心の揺れ動きや感情を捉えます。その表現は、鑑賞者と絶妙なバランスを保ちながら訴えかけ、共感を誘います。

本展では「必然性のある展覧会とは？」という問いに向き合い、ギャラリーの壁に直接ペンキで描くマンガで表現します。

<略歴>

1995 奈良県生まれ

2016 京都市立芸術大学美術学部美術科 日本画専攻 在籍中



《定期的に失わないとわからない》2015 / ペンキ、木材パネル、鉄、砂 / サイズ可変

楠井沙耶 KUSUI Saya

楠井沙耶は彫刻専攻に在籍し、木や布などを用いた作品制作をしてきました。触れてみたくなるほど大胆な彫り跡が残る木彫作品は、木目の素朴な模様と調和し魅力にあふれています。一方で、彼女は素材性にとどまらない身体感覚に基づくテーマを追求して、制作を続けてきました。

本展ではイベントとしてワークショップを2回に分けて行います。自らの領域を探るために、参加者は作品の布を崩し、ひろげ、たたみ、置きます。その度ごとに会場の様相は変わり、意図しない作家と観客、観客同士の接触が作り出されるでしょう。

<略歴>

1993 大阪府生まれ

2016 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻 卒業
京都市立芸術大学美術研究科修士課程彫刻専攻 在籍中



《weather ball》2016 / 楠、松 / サイズ可変

西村有未 NISHIMURA Yumi

西村有未は、現実と想像力の関係性について、断絶やギャップが生まれることに着目し、それらを物語的に見せる絵画表現の可能性を探求しています。怖いこと、考えたくないこと、分からないことなど、直視したくない出来事を「なかったこと」にしないためには、という視点から寓意と呼ぶ要素をちりばめた油彩作品の制作に取り組んできました。

本展では幼少時に読んでいた絵本に着想を得て「死」という問題を転換させる絵画を発表します。

<略歴>

1989 東京都生まれ

2014 東京造形大学造形学部美術学科 絵画専攻領域 卒業

2016 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程
絵画専攻油画 修了
京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程
油画専攻 在籍中



《御神木の年輪よりおもう》2015 / 油彩、キャンバス / 910x910mm

西森加奈 NISHIMORI Kana

西森加奈は、過ぎ去っていく「今」に対する物悲しさや虚しさを鑑賞者や空間を覆うような大小様々な装置によって追体験させます。光やドロ잉、声などによって「今」を増幅させ、それぞれが見る者に覆い被さることで、終わらない「今」を生み出します。

本展では、祭りの終わりの何とも言えない虚脱感を「犬のサーカス」というプランの提示によって表現します。構想のためのドロ잉、犬の衣装、舞台のジオラマといった実際的な道具を並べ、『いつかの「今」』を想定しながら、フィクションと現実の狭間を軽やかに行き来させるでしょう。

<略歴>

1992 兵庫県生まれ
2016 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻 卒業
京都市立芸術大学美術研究科修士課程
絵画専攻油画 在籍中



《今にいたいよ》2014 / テント、A4 コピー用紙、テープほか / 2400 × 2400 × h 2500 mm

武藤桃 MUTO Momo

武藤桃は自分と見知らぬ他人の人生や歴史との関係を心理学的な視点から捉えたパフォーマンスやインスタレーション、映像作品と、コミュニケーションの齟齬から生まれる葛藤を題材とした演劇の脚本など、様々な媒体での制作を通して考察しています。本展では誰かとコミュニケーションを取る際に演じてしまう「役割」をテーマに表現します。作者自身と他者との会話の記録をつぎはぎに編集した映像作品と、突然行なわれる監視員による会話のパフォーマンスを通し、浮き彫りにされた「役割」の文脈や意味をひっくり返すという試みを行います。

<略歴>

1994 東京都生まれ
2016 京都市立芸術大学美術学部美術科構想設計専攻 在学中



《葦舟かつ箱舟》2014 / 葦、針金、映像 / サイズ可変

開催概要

展覧会名称：京都市立芸術大学芸術学研究室による総合選抜展：Colors of KCUA 2016 「ニューバランスはあらわれた」

主催：京都市立芸術大学、京都市立芸術大学芸術学研究室

会場：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA (住所/京都市中京区押油小路町 238-1)

京都市立芸術大学 @KCUA
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 — KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

会期：2016年8月30日(火)～9月19日(月・祝) 11:00～19:00 (最終入場 18:30 まで) 休館日：9月5日(月)

入場：無料 お問合わせ：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

Tel: 075-253-1509 E-mail: gallery@kcuu.ac.jp 公式サイト：http://gallery.kcuu.ac.jp



■ プレス向け画像貸出について

本プレスリリースに掲載している画像はメディア掲載時にご利用いただけます。

ご希望の方は広報担当(西谷)までお問い合わせください。

【プレスリリース お問合せ】

広報担当 | 西谷枝里子 (リレーリレー)

Tel. 090-2062-6963 Fax. 075-253-1510 E-mail. eriko@relayrelay.net